

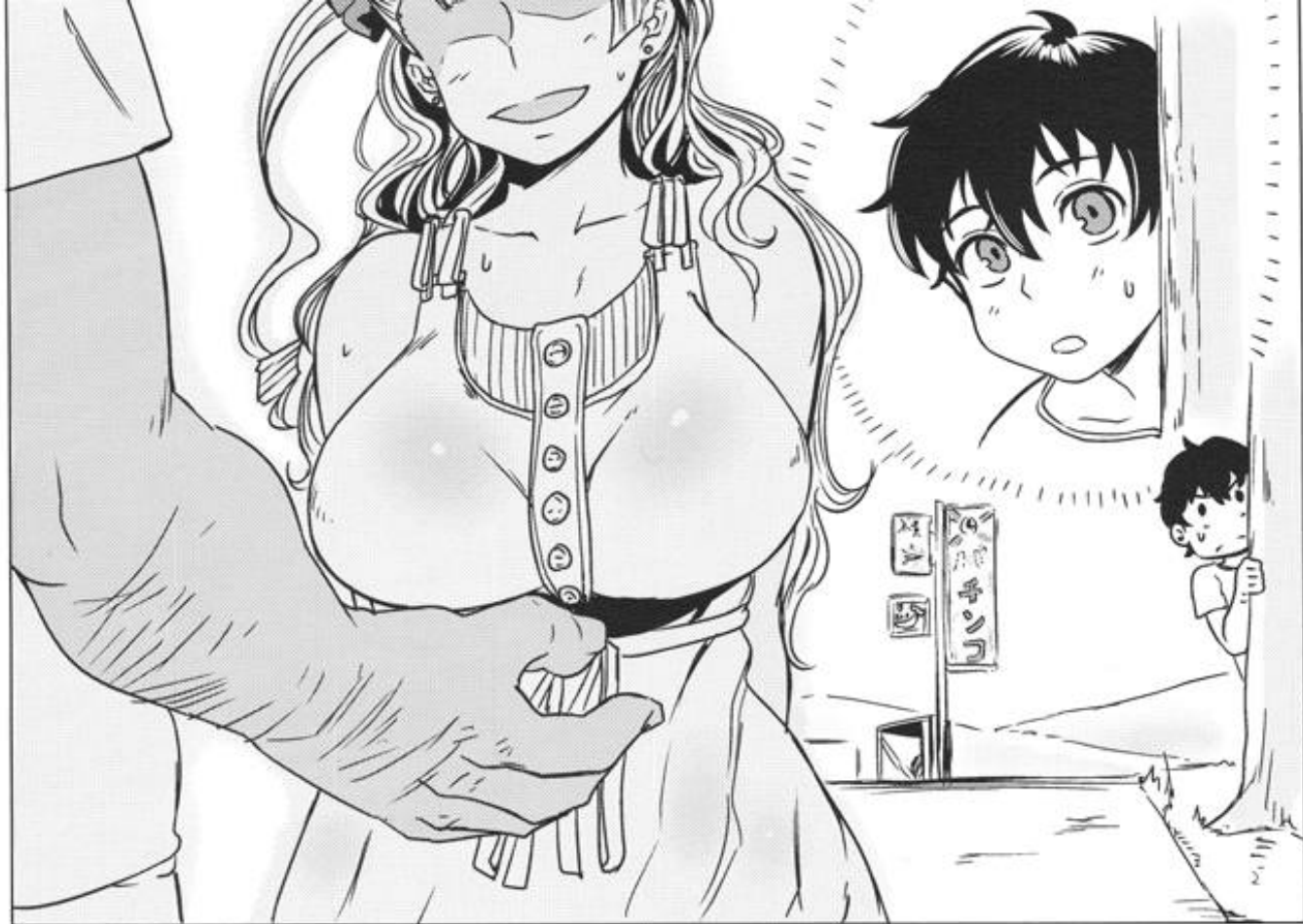


ギャル

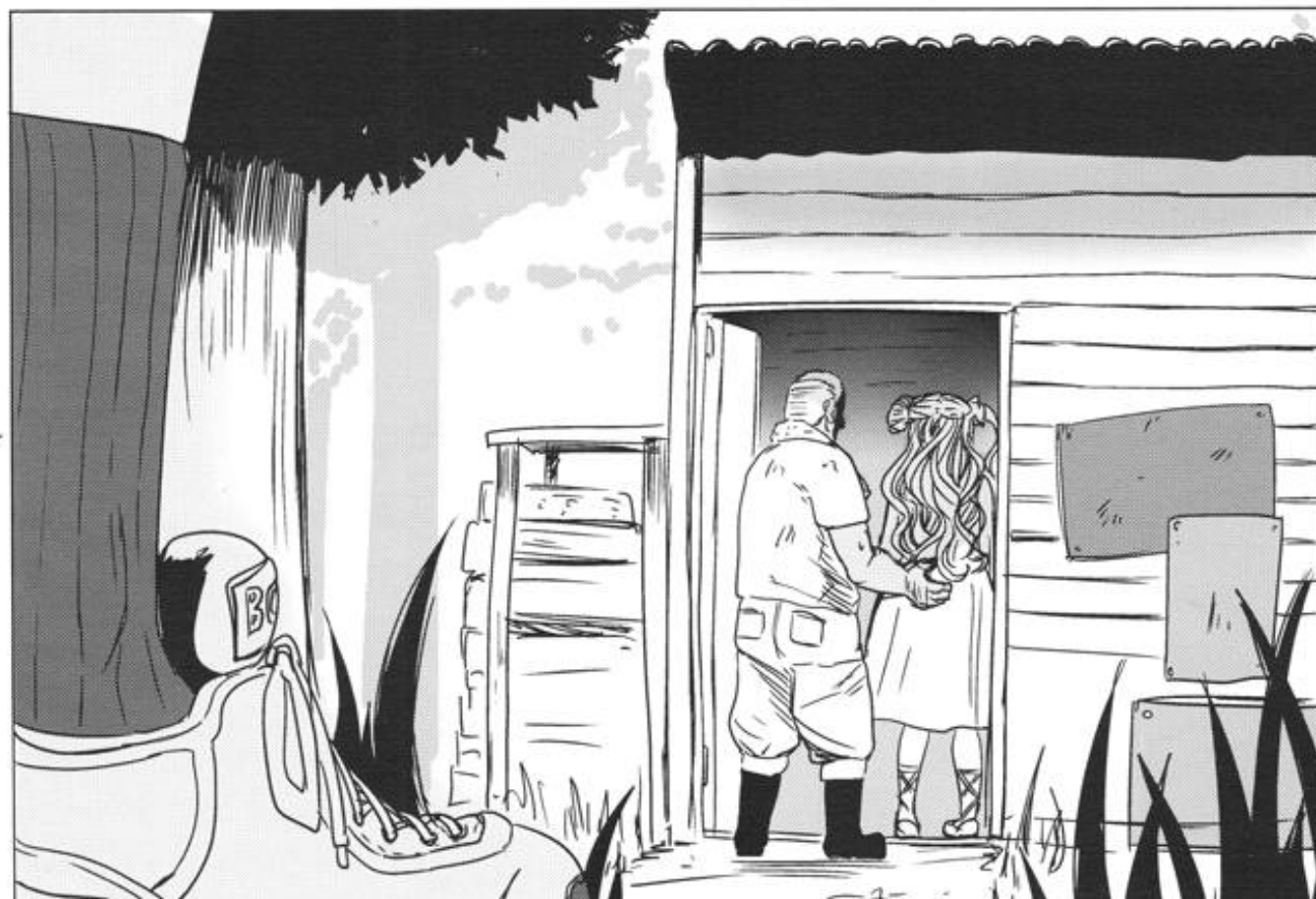
夏!

FOR ADULT ONLY

18歳未満の購入、閲覧禁止



ギヤル夏





夏休み、母の田舎で
あの時のお姉さんに再会した。
忘れられない思い出が出来たと
同時にもう一度会えないかと、
翌日にブラリと散歩していたら
お姉さんを発見……

だが隣には知らないおじさんが
いた。

親しげに話し合ってる二人は
しばらくして歩き出し
茂みにあったポロ小屋の中
入っていった。

中に何があるのか気になり
小屋の壁が欠けている部分
を見つけ、恐る恐る中を覗いてみた。

2

おじさんはズボンとパンツを
下ろし「ちんこ」をお姉さんの
顔の前に出していた。

お姉さんはそれを手に持ち
まじまじと見つめている。

あまりの驚きと見てはいけない
ものを見てしまった気分になり

すぐにその場を離れようとしたが、
どうしても目を離せずには
いられなかった……

「すっ……お姉ちゃんに聞いた通り
おっちゃんともない持ってるねー♥
これでお姉ちゃんヒイヒイ言わせただねー」

「逆逆！おっちゃんのほうがヒイヒイ言わせられたの！」

「ホント君のお姉ちゃんには何度搾り取られたか！
妹さんの君も凄いいんじゃないかと
ちよっと怖かったりするんだよw」

「そうなんだー」

「じゃあお姉ちゃんに負けられないように頑張ってみようかなあつと
口にはちよつと自信あるんだよねえ」
ネロオツと回が開いて舌を突き出す
それに反応するかのように「ちんこ」が更に大きくなった。

「まだおつきくなってるんですけど？おじさんもしかして溜まってる？
「最近若い子にはごぶ沙汰だったからねえ、金玉には特濃のミルクが
たんまり入ってるよ」

「これ期待しちゃっていいかもー？

もう美味しそうだし我慢できないし、このままかぶりついちゃえー！！
お姉さんはそう言うとき大きく口を開き、「ちんこ」を飲み込んでしまった

「じゅっぽ！じゅっぽ！ずちゅちゅ、ずちゅっるるー！」

ポロ小屋の中で大きな音が鳴り響く。
全てお姉さんの口から出てる音だ。
何度もちんこを口から出したり入れたり
その度に大きな音が鳴り響く。
「ジブ、ンボツ、ズジューウー、ンジュルウー！
ジューボボ、ジューポジューポー！」

「ああ、くっ……これは……すごい吸い上げだ
もう我慢できそうにないぞ……！」
何度か出し入れしているうちに
おじさんが大きな声を上げて後ずさりした
一瞬お姉さんの動きが止まったがすぐに
動きを繰り返し、何時も以上に大きく
ちんこを吸っていた
……何かを飲んだようだった。

おもむろにスマホを取り出し
行為の様子を撮影した。



後ろめたさもあつたけど
どうにも興奮を抑えられない
しっかりと画面に収めて
撮影を開始する。

お姉さんは大きくお尻をおじさんに突き出しスカートをめくってお尻を目一杯広げる。
昨日見てしまった派手な下着とは違い
紐一本でしか隠れてない下着と呼べるものかも分からないものを穿いていた。

お尻の穴が丸見えになりお姉さんがおじさんに言った。

「おじさんは下の穴よりこっちの穴のほうが好きだって話は本当ですかあ？」

「あーあひーひびい！
あ、ああ・・・や、やっぱりお尻気持ちいい♡」

お姉さんはまるで獣かと思えるくらい声を出し始めた
「はあ、はあ、姉妹そろってとんだ変態だ！
このケツ穴ビッチギャル子め！

たっぷり精液注ぎ込んでやるから覚悟しろよ！」

「あーん出して出して♡
おっちゃんの精液いっぱい注ぎ込んで♡」

おじさんの動きもお姉さんの声も更に激しくなる。
僕は瞬きもせずにその光景をビデオに、
目に焼き付けていた・・・

ぶぼ！ぶりゆ！ずぼ！ぶぼぼ！

お姉さんのお尻から物凄いい音が鳴り響く。

「おお、いい音出しおる！たまらんなあ！」

「は、恥ずかしい♡聞かないでえい♡」

おじさんがお姉さんの返事に反応して動きを激しくする。

お尻の穴は正直アレを出す穴だから逆に入れるという発想に衝撃を受けた。

おじさんが「ちんこ」を
お姉さんのお尻から引き抜く
おじさんはすぐに「ちんこ」を
手でこすり上げると白い液体が
勢いよく飛び出し、

お姉さんの大きなお尻に大量にかけられた。

「すっごい量、どんだけ溜まってたんですかあ?」

「まだまだこんなもんじゃないぞ!」

今日は家に泊まれ! たっぷり可愛がつてやる!

がはは!

「え〜どうしよっかな!...♥」

お姉さんは笑みを浮かべながらおじさんをはぐらかす。
そしておじさんの「ちんこ」を再び口で飲み込み始めた...

ふと我に返って、罪悪感に駆られて
大急ぎでその場をあとにした。

行為は続いたようだけど
最後まで見る勇氣はなかった...



母親は息子の性器に興味津々って 本当ですか？



夫との夜の営みは不足もなかつたし不満も無かつた。

でもどうしても息子のソレから目が離せなくて

息子の形や味への好奇心が理性で抑えられなくなってしまったのだ。大ききこそまだ敵わないが形は夫のと非常によく似ている。思わず息子のソレを口に含んでしまった。

「んふっしょっばい」

ずちゅるる、じゅぼじゅぼじゅぼ！

「パパ譲りの立派なチンポになって……沢山吸い出してあげるからね」口をすぼめて一気に吸い上げる。

じゅっぼじゅっぼぶぼぶぼじゅるるじゅぼじゅぼじゅぼじゅぼじゅぼ！！

舌で皮をむき、貯まった恥垢を綺麗に舐めとり味わう。亀頭の形を舌でなぞりながら夫とのアレと比較する。

息子の日々の成長ぶりが性器を通して伝わってきてる気がし

口で愛撫してるだけでとても素敵な幸福感に包まれていた。

そして息子のおちんちんが射精すると同時に

口をすぼめて一気に吸い上げる。

一滴も残さず口の中で味わい、全て飲み干す。

若々しい精液を飲んだせいかわ、もう理性のたが外れてしまった

私はパンツを脱ぎ、息子のおちんちんにゆっくりと腰を

下ろしてしまったのだ。

「ま、ママ?!なにやってるの!」

「え、クセ太?!あ、あのこれは

その……!」

息子が起きてしまった!
ベッドが軋むほど腰を振っていけば当然である。
「うう、ああ!と、止まってママ!動かないで!」
息子が懇願するも、動きを止めなかった。
もう後には引けそうになかったからだ。

息子と一つになったこの幸福を逃すものか。

「ご、ごめんねクセ太!悪いママでごめんね!」

「だ、だめ!それ以上だめだよ!で、でちゃ……!」

「出るのね!精液出るのね!良いわよ!」

「ママの中に出して!お願い!」

「あ……ママ!ママ!!」

子宮の奥に息子の精液が流れ込んでくる。

私は頭が真っ白になり天国にも上る気分になった





神巫女伝

「あーもうチヨイ下下、そうそこそこーゆっくり入れてみてーお兄さん♡」

「うああ。。。入っでいく〜」

ギャル巫女さんの中にチンポが飲み込まれていく！

まさか神社の脇で童貞卒業してしまうとは……。

「童貞卒業おめでとーございマース♡」

久々に童貞チンポ食えてうれしー♡」

暖かく滑って包み込まれる感触！

あまりの気持ちよさにまたすぐに

射精してしまいそうだし！

しかし……



「し、神聖な神社のそばでギャルとはいえ

巫女とセックス……凄い罰当たりなような……」

「ん？全然罰当たりじゃないですよー？」

「え？」

「お兄さんオタクなのにご存知でない？

巫女って日本における遊女の起源、つまり

売春婦の先駆けなんですよー！

むしろ御利益として逆に全然アリなんですよー」

「知らなかった……そんなの……」

意外と博識なギャル巫女さんに関心しつつ

たどたどしい腰使いが何とも恥ずかしかった。

あ、これ知ってる
妹がビデオで見てたわ

おおッ!?
もしや妹さんは
オタクですか?!

うーん、
映画とかアニメ好きの
おバカなギルちゃん上♡



なくんか
小馬鹿に
されたような
気がする...



Mil★Ker



「う、ふほら、おおーららららよおー」

その調子でもっと搾ってー！」

「ブビュル！ビュルルル！」

「うーうむ。。。まだ出てくる。」

もう汚いし臭いし最悪！」

「。。。」

少し一緒に遊べばお金がもらえる...

いわゆる援交ってやう。

声かけられた時は正直キモかったけど、

ちょっと興味あったし何よりお金欲しかったし

少しだけならってOKしちゃった。

夏休みの乳搾り体験のこと話したら

同じことやってくれって言われて今それ実行中。



四つん這いになった裸のおっさんの下に潜り込んで

おちきくなったソレを乳搾りのように絞るだけ。

絞る度におっさんが呻いて、もっと激しくとか

言ってきたマジキモい！

でもどうしても目が離せなくて絞るのに夢中な自分がいる

キバ美はただただ黙って手を動かしてる。

男のソレがこんな熱く太くて固いものだとは知らなかった

何度も床に出されるミルク。

酷い匂いで全く飲む気にならない。

ふとクセ太を思い出した。

クセ太のはこんな醜くないよね...？

調子に乗ったおっさんは更に金積むからと
今度はワキに挟ませてくれとお願ひしてきた。
腕を固定されてワキとワキにソレを挟んで
おっさんは前後に腰を振りまくった。

「はあ、はあ、J S！ J Sのワキまんこ……！
すべすべワキまんこ……くっくうふう……！」
おっさん、キモすぎ。

NT

ぬるぬるとワキに擦り付けられるソレ
更にミルクが服や肌にかかってくる。もう最悪。
でもワキから感じるソレの熱さが伝わってきて
なんだか変な気分になうてくる。

それを私はすごく嫌がったけど
キバ美はちよつと違うようだった。
終わったあとは二度と

こんな気持ち悪いこととはしなないとそう誓った
……でも、お金貰えるし、手やワキくらいなら……
そう思ってる自分もいる。

たぶんまたこのおっさんに会うかもしれない。
あくまでお金の……お金のために。

ギヤル鬼退治

はあ？退治い？
やれるもんならどうぞー

むかしむかしあるところに
凶暴な鬼がいましたとさ。
いつも悪さばかりするその鬼の前に
桃太郎と呼ばれる武芸者が鬼に勝負を
挑みました。

鬼は軽く捻ってやろうと自身満々に
その勝負を受けて立ちました。



勝負は桃太郎が一方的に圧倒し
鬼は為す術もなく敗北しました。

桃太郎は興奮冷めやらず、思わず鬼の肛門に
怒張する『金棒』を突き立てて挿入し、
乱暴に鬼の肛門を掘りはじめました。

金棒は激しく前後し鬼の肛門を押し広げます。
鬼は苦悶の表情を浮かべながら
迫り来る痛みと快感に必死に抗います。

ずぼ！ぶぼ！ぶぼぼ！ぶちゅる！
ぶっぼ！ぶっぼ！

卑猥な音が辺りに響きます。
金棒から精液が噴出し何度も何度も鬼の中に
吐き出されます。

「ひく・・・わ、私が悪かったデスー！もう許してー！
鬼はどうとう降参し、周りは平和になりましたとさ
その後、改心した鬼は桃太郎専川の肉便器として
一生連れ輪姦されることになりましたとさ。
めでたしめでたし。」

あとがき

お手に取って頂きありがとうございます。

こんにちは、はじめまして、nuezou(ぬえぞう)です。

今回は去年の冬と同じくギャル子ちゃん本にしました。

漫画でなくほぼイラスト本になっちゃいましたが、

去年のよりはマシな出来に仕上がったと思います…。

(去年のはホント酷い出来で恥ずかしいレベルでしたので…)

おしえて！ギャル子ちゃんも2巻発売となり色々なキャラが出てきて楽しいですね。

最近は委員長も悪くないと思ったり…デコいいですよデコ。

ホントは人気高い肉子とか、個人的一番好きなオカ子とかフジ美とかも描く予定

だったんですけど今回は断念しました。

また次回に一気に描いてみようかと。てか描きたいキャラが多い！

それだけ魅力的な作品ですねー。

ゲームは相変わらずドラクエ10が主で新しいゲームは全然という感じ…でもなく、

スプラトゥーンも楽しんだり秋発売のモンハンXも楽しみであります。

ドラクエ11も本気で楽しみです。

最近は色々な映画を借りては見てます。

普段は見ないようなジャンルの映画を見るようにしてます。ヒューマンドラマ系とか。

見聞広めたいといいますか、もっと色々な視野を広げたい。

古い映画もバンバン借りて見ていこうと思います。

正直自堕落過ぎたので変化をつけたい今日この頃。

それではまたお会いしましょう。

次回はシコマサとかドラクエ本とか、はたまたまたギャル子ちゃんか…w

発行 nuezou(UU-ZONE)

発行日 2015年8月16日

印刷 有限会社トム出版

UU-ZONE

